

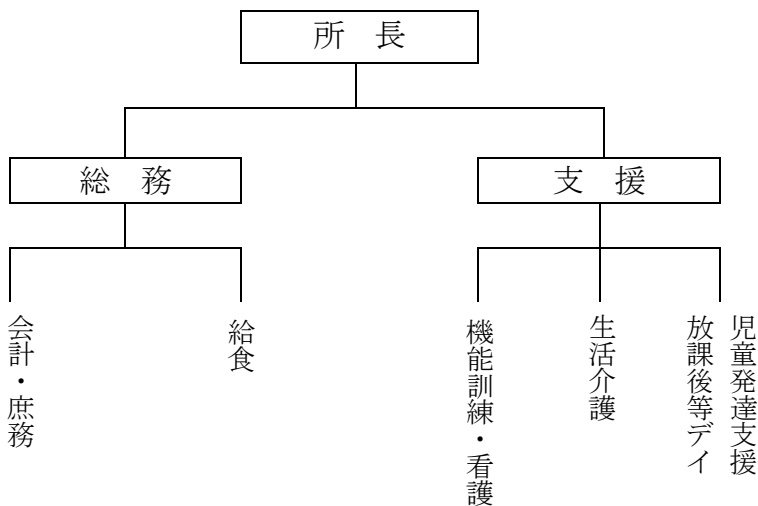
令和 5 年度慈愛福祉学園デイサービスセンター事業報告 (生活介護)

《施設の概要》

- ・名称及び所在地 「慈愛福祉学園デイサービスセンター」
〒022-0006 大船渡市立根町字下欠 1 2 5 番地 1 7 TEL21-1122 FAX21-1120
- ・施設の種別 「生活介護事業」、多機能型事業所「放課後等デイサービス事業」「児童発達支援事業」「日中一時支援事業」
- ・概 要
施設規模：床面積 8 2 3 . 5 3 m² (鉄筋コンクリート 一部軽量鉄骨プレハブ造平家建)
施設内容：指導員室・会議室・相談室兼静養室・便所・車椅子便所・調理室・食堂・更衣室・倉庫・日常生活訓練室・作業室・脱衣所・機械室・浴室・訓練棟
- ・定 員 1 日 2 0 名
- ・目 的 利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った、適切かつ円滑な指定生活介護及び特例基準該当児童発達支援、日中一時支援事業の提供を確保することを目的とする。
- ・沿 革
平成 1 3 年 1 0 月 1 日開所
平成 1 8 年 1 0 月 1 日生活介護事業として指定を受ける。
平成 2 4 年 6 月 1 日日中一時支援事業として大船渡市・陸前高田市より許可を受ける。
平成 2 7 年 6 月 1 日特例基準該当児童発達支援として大船渡市・陸前高田市より許可を受ける。
令和 元年 7 月 1 日特例基準該当児童発達支援事業が児童発達支援事業として変更申請の認可を受け、以後放課後等デイサービス事業に於いて対応することとなる。

《組織図及び職員名簿》

- ・組 織 図



多機能型事業（生活介護：20名）			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
施設長	中 村 浩 行	主任（サビ管）	新 沼 瞳 美
主任（作業療法士）兼務	工 藤 優	生活支援員	森 香 央 里
生活支援員	千 條 睦 美	生活支援員	渡 辺 大 輝
生活支援員	石 橋 大 輝	生活支援員兼事務	山 田 恵 理 子
生活支援員兼事務	佐 々 木 若 奈	生活支援員	佐 藤 俊
生活支援員（契約）	平 野 聖 実	生活支援員(兼務契約)	藤 原 清 子
生活支援員兼調理（契約）	佐 野 優 子	生活支援員（パート）	紺 野 博 美

生活支援員（パート）	竹 村 真 奈 美	生活支援員（パート）	伊 藤 佳 子
生活支援員（パート）	白 崎 明 美	看 護 師	安 田 初 美

退職者 田中敬司（7月） 藤原清子（3月） 紺野博美（3月）

1. 利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
平均	19.5	19.4	19.8	19.8	18.7	18.9	18.9	17.7	17.8	17.5	17.6	17.5		18.6
延べ	488	504	514	514	468	492	492	461	464	437	440	454	5728	477

2. 行事報告

月	日	行 事 名	月	日	行 事 名
4	5	お花見（大船渡地区公民館）	11	15	遠足（南三陸町）
6		外出支援	12	13	忘年会
8	21	納涼会	12	18	クリスマス会
11	7	防災訓練	1	15	水木団子作り
11	10	遠足（南三陸町）	3	27	防災訓練

② 施設内研修

月	日	担当者	受講者	場 所	研 修 内 容
4	15	長野	15	ホール	肩こりについて
5	20	石橋	15	ホール	人権（ストレスチェック）
6	17	佐々木	16	ホール	夏バテについて
7	15	早瀬	13	ホール	人権（職業性ストレス簡易調査票の集計結果）
8	19	新沼	16	ホール	身体拘束
9	16	工藤	13	ホール	腰痛予防
10	21	及川	13	ホール	感染症（うがい・消毒）
11	18	佐藤	14	ホール	視力について
12	2	所長	14	ホール	感染症
12	2	森	14	ホール	法人オンライン研修会（虐待防止）
1	20	渡辺	11	ホール	ハラスメント防止
2	17	森	12	ホール	虐待防止（これって虐待？虐待でない？）
3	16	佐々木	14	ホール	正しいうがいの仕方

③ 施設外研修会

月	日	研 修 会 名	場 所	参加者
5	17	虐待防止・権利擁護研修会	アピオ	石橋
5	27	CAREスキル	希望ヶ丘病院	佐々木・藤原
6	24	CAREスキル	希望ヶ丘病院	佐々木・藤原
7	6	作業療法士業務委託	岩手県立盛岡ひがし支援学校	工藤
8	24～25	強度行動障害支援者養成研修	ふれあいランド岩手	早瀬
9	20	作業療法士業務委託	岩手県立盛岡ひがし支援学校	工藤
11	17	レクリエーション研修	福祉の里センター	平野
11	24	沿岸ブロック協議会	大槌町文化交流センター	所長
11	30	サービス管理責任者等実践研修	ふれあいランド岩手	千條
11	29	作業療法士業務委託	岩手県立盛岡ひがし支援学校	工藤
12	1	サービス管理責任者等実践研修	ふれあいランド岩手	早瀬
12	18	栄養士等を対象とした研修会	アイーナいわて	石橋

3. 地域交流活動

- (1) 行事参加 →参加なし
- (2) ボランティアの受け入れ → 今年度受け入れなし

4. 家族との連携

- ・連絡帳を介して日々の状態など共有を行う他、必要に応じて電話対応、面談も行い円滑なサービスの提供に努めた。

5. 利用者支援

- (1) 日課及び指導・介助の動き

時 間	日 課	指導・介助の動き
	内 容	内 容
8:30 ～ 9:30	利用者迎え	掃除・出迎え・打合せ
9:30 ～ 10:00	バイタルチェック	バイタル測定・排泄介助
10:00 ～ 10:10	朝会（呼名・体操・所長お話）	1日の活動内容説明
10:00 ～ 10:30	機能訓練（リハビリ）・創作活動（図画、工作等）作業活動（園庭整備）入浴	指導・休憩時の水分補給
10:30 ～ 11:30		作業指導・排泄介助
11:30 ～ 12:00	口腔体操・手指消毒	食事の指導と介助
12:00 ～ 13:00	昼食・歯磨き	水分補給・排泄介助
13:30 ～ 15:00	機能訓練（リハビリ）・社会適応訓練	リハビリ・活動支援
15:00 ～ 15:30	おやつ・掃除・終会	1日の反省
15:30 ～ 17:00	利用者送り	送り・掃除・日誌記録

- ②介護 ・食事において「きざみ食」「トロミ食」の適用など一部および全面的な介護の実施。

- ・入浴において一般浴並びに機械浴等を通しての一部および全面的な介護の実施。
- ・排泄において摘便を含め一部および全面的な介護の実施。
- ・移乗において車いすからベットなど一部および全面的な介護の実施。
- ・送迎において車輛への移乗や車いすのままでの乗車など一部および全面的な介護の実施。
- ・軽作業や創作的活動の提供および介護の実施。

- ③リハビリテーション

- ・ 身体に障害のある利用者に対して専門職である作業療法士がリハビリについての相談、指導をおこなった。

- ④医療的ケア

- ・ 胃ろう増設の方に対して経管栄養のための支援及び痰吸引を実施。
- ・ 自己排泄不可能な方への浣腸による摘便の実施。

- ⑤生活支援

- ・ 集団生活の中で、他者との関係において互いに影響しあいながら、個人の尊重が同時に他者への尊重を含むことを認識してもらえるよう支援した。
- ・ 地域において安心して生活できるよう、他の福祉サービスが必要な場合、関係機関との連携のもと支援を行った他、必要により医療機関への通院支援を実施した。
- ・ 手工芸をおもに、生産活動の機会の提供に努めた。

- ⑥体力づくり

- ・ 朝会后、ラジオ体操等の実施により、体力の向上、肥満の防止に努めた。
- ・ レクリエーションにおいてお話し会・歌・ゲーム等を取り入れ実施した。
- ・ 利用者の体力・運動能力に応じ適度な歩行訓練を行い体力増強、健康増進に努めた。
- ・ 健康管理において毎朝、健康点検を行い、体温・血圧・心拍数を測定するとともに、インフルエンザ予防に努めるなど、日々健康で生活できるよう健康管理の徹底を図った。

- 6. 苦情解決 受付0件

7. 防災状況

非常災害に関する具体的計画を立てておくとともに非常災害に備えるため、非難、救出その他必要な訓練を2回実施した。また非常用物品や食品の在庫見直し実施。

8. まとめ

令和5年度の利用状況につきましては、新規利用者が5名登録、退所者5名（移行2名・死亡3名）で登録者に変動はありませんでした。外部入所施設利用者さんの通所再開も入所施設側の感染対策が継続となっており、しばらく再開の目途が立たない状況です。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も基本的感染対策は継続しています。そのため、家庭内感染はあるものの施設内での感染事案はありませんでした。

今年度はコロナ禍で中止としていた遠足行事を再開することができました。利用者の皆様からも「やっと遠足に行ける」と心待ちにされていた声をたくさん頂きました。遠足が初めてといった声も聞かれ、外出は利用者の皆さんにとっても貴重な社会参加の一環であり、今後も参加の機会を増やしていけたらと思います。

人員体制について今年度は年度途中で退職者が2名、産休1名でした。職員募集を行いました但応募がなく、人員不足から生活介護の職員が児童支援のサポートに回る体制を整備しました。そのため、昨年度からの課題としてあげておりました人材育成に必要な指導時間の確保が難しい状況でした。また、日中支援においても限られた職員での支援は心労も多く、職員個別面談では利用者支援の困難さに直面している声が聞かれました。

来年度の目標として、人材育成の強化、チームワークの再構築、支援力の向上（スキルアップ）を目指して満足度の高いサービス提供に繋げられるよう取り組みたいと思います。

令和5年度慈愛福祉学園デイサービスセンター運営報告 (放課後等デイサービス・児童発達支援)

《 施設の概要 》

- ・名称及び所在地 「慈愛福祉学園デイサービスセンター」
〒022-0006 大船渡市立根町字下欠1 2 5 番地1 7 TEL21-1122 FAX21-1120
- ・施設の種別 多機能型事業所「指定放課後等デイサービス」「指定児童発達支援」
- ・概 要 生活介護との併用
- ・定 員 放課後等デイサービス。児童発達支援合わせて10名
- ・目 的

在宅の障害児に対して通所の方法により日常生活動作、運動機能等に係る訓練、その他必要な療育を行うことにより、障害児の処遇向上を図ること等を目的とする。

- ・沿 革
 - 平成19年 4月1日 基準該当児童デイサービス開始
 - 平成22年 4月1日 指定児童デイサービスを開始
 - 平成25年 4月1日 指定放課後等デイサービスを開始
 - 令和 元年 7月1日 生活介護で対応してきた基準該当児童発達支援事業が、変更申請が認可され、指定児童発達支援事業となった為、放課後等デイサービス事業で対応となる。
 - 令和 2年10月1日 放課後等デイサービス・児童発達支援合わせて10名の定員に変更する。

《 組織図及び職員名簿 》

- ・組織図は生活介護と併用
- ・職員名簿

多機能型事業			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
施 設 長	中 村 浩 行	保 育 士（契 約）	大 畑 芽 衣
児童発達支援管理責任者	早 瀬 里 子	指 導 員（兼 務 契 約）	藤 原 清 子
保 育 士	佐々木耀子（7月産休）	保育士（アルバイト）	出羽満江（11月から）
児 童 指 導 員	及 川 智 子	看 護 師	安 田 初 美

退職者 長野はるな（12月）

1. 利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
平均	9.3	10.3	8.3	8.9	8.8	8.8	8.8	8.3	8.3	8.1	8.5	8.0	104.4	8.7
延べ	224	238	216	224	203	212	221	199	199	188	204	201	2330	194

2. 行事報告

月	日	行 事 名	月	日	行 事 名
4	1	お花見ピクニック	12	28	お楽しみ給食(フクセン)
	3	河川敷ピクニック	1	5	里センター活動
	4	クッキング		11	斎藤製菓工場見学
	10	河川敷ピクニック		12	里センター活動
5	2	クッキング	1	15	人形劇
	12	クッキング	2	2	豆まき①
	24	選択式テイクアウト給食	2	9	豆まき②
7	31	クッキング	3	6	クッキング
		ビニールプール②		21	卒業生を送る会
		ビニールプール③		22	里センター活動
		クッキング（パウンドケーキ）		25	外食体験（はぴなろカフェ）
10	6	キッチンカー販売による買い物学習（クロッフル）		26	里センター活動
12	25	クリスマス会		28	お楽しみ給食（フクセン）、避難訓練
	26	里センター活動		29	里センター活動

※保護者座談会を9月1日に開催…5家庭6名が参加

参加者…大船渡市役所子ども課2名、陸前高田市役所子ども未来課2名

② 施設内研修

生活介護に同じ

③ 施設外研修会

生活介護に同じ

※その他、例年通りの研修会へ参加予定でしたが、職員配置等の不足により不参加となる。

3. 地域交流活動

（1）行事参加 なし （2）ボランティアの受け入れ 生活介護に同じ

4. 家族との連携

（1）連絡ノート

・連絡帳を通して家族と随時連絡を取り合うことにより、家族の精神的不安の緩和につながったケースも認められた。

（2）口頭での申し送り

・家族送迎時、利用受入時等の口頭での申し送りにより、正確な情報を得ることができた。

5. 利用者支援

①日課及び指導・介助の動き

時 間	日 課	
	内 容	備 考
7:30 ～ 9:30	利用者迎え・受け入れ	
9:30 ～ 10:00	健康点検・朝会	
10:00 ～ 10:50	集団または個別での療育・支援	
12:00 ～ 13:00	昼食	
13:00 ～ 13:30	休憩	
13:40 ～ 15:00	機能訓練（リハビリ）・社会適応訓練、レク	
15:00 ～ 15:40	おやつ・終会	
15:40 ～ 18:00	自由遊び、送り	

②指導、介護、療育

- ・食事において「きざみ食」「トロミ食」の適用など一部および全面的な指導、介護の実施。
- ・入浴において一般浴並びに機械浴等を通しての一部および全面的な指導、介護の実施。
- ・排泄において声がけを含め一部および全面的な指導、介護の実施。
- ・送迎において車輛への移乗や車いすのままで乗車など一部および全面的な指導、介護の実施。
- ・保育士、作業療法士による感覚統合やその他療育の提供。

③リハビリテーション

- ・当センター独自のサービスで、利用登録児童に対して専門職である作業療法士がリハビリについての相談、提供をおこなった。

④医療的ケア

⑤生活支援

- ・日常生活における動作全般の支援を重点的に取り組む。特に着替えの場面において自分で出来る行為は可能な限り手を貸さないように注意して支援を行った。

⑥体力づくり

- ・長期休業中は週に1回の体育館活動の他、散歩や公園遊びなど、身体を動かすことを意識した活動を提供した。
- ・健康管理において毎朝、体温を測定して健康状態を把握するとともに、インフルエンザ等感染症予防に努めるなど、日々健康で生活できるよう健康管理(把握)の徹底を図った。

6. 苦情解決 受付0件

7. 防災状況 生活介護に同じ。

8. まとめ

【児童発達】

令和5年度の利用状況については、家庭の都合により、1名が契約終了となり、利用状況は現在1名、週に2回の利用頻度となっております。継続して作業療法士と共に見立てを行い、日常的な関わりは保育士をはじめとする児童担当職員が対応しました。

【放課後等デイサービス】

令和5年度の利用状況については、年間平均利用児童8.7名、昨年度より利用率は減少しております。また3月には高等部の1名が卒業いたしました。

日常的な活動では、コロナ感染症が5類へ移行となりましたが、まだ感染状況もあることから、昨年度同様コロナ対策を継続しております。ただ、外食体験や施設見学等は少しずつ再開しておりますし、戸外の公園、河川敷での活動を増やすことによって、子どもたちが思い切り体を動かし、ストレス発散を促すことができました。また、クッキングではデイで収穫した食材を使用し、季節に合った料理をすることで、子どもたちの楽しむ姿が見られています。

今年度は感染対策の観点や、児童への直接的な関わりに人手が必要となり、研修参加が難しい状況

でしたが、来年度は研修等に積極的に参加し、スキルアップを目標とすると共に、ご家族のニーズに寄り添った支援提供ができるよう努めたいと思います。

令和5年度慈愛福祉学園デイサービスセンター運営報告 (日中一時支援事業)

《 施設の概要 》

- ・名称及び所在地 「慈愛福祉学園デイサービスセンター」
〒022-0006 大船渡市立根町字下欠1 2 5 番地1 7 TEL21-1122 FAX21-1120
- ・施設の種別： 日中一時支援事業
- ・施設の概要： 生活介護事業に同じ
- ・定 員： 1日10名
- ・目 的：

この事業の目的は、社会福祉法人大洋会が開設する慈愛福祉学園デイサービスセンター（以下「事業所」という）が行う日中一時支援事業（以下「事業」）の適正な運営を確保するために人員及び管理に関する事項を定め、利用者（児）の意思及び人格を尊重し、利用者（児）の立場に立った、適切かつ円滑な日中一時支援の提供を確保することを目的とする。

併せて家庭における、家族の就労等を可能にすることや教育並びに介護からの疲れなどの負担軽減にもあります。

- ・沿 革：
平成24年6月1日、日中一時支援事業として大船渡市・陸前高田市より許可を受ける。

《 組織図及び職員名簿 》

- ・組織図は生活介護と併用
- ・職員名簿は生活介護及び放課後等デイサービスと併用

1. 利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
延べ	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8

2. 家族との連携

放課後等デイサービスに同じ

3. 利用者支援

(1) 日課

①通学支援時程

時 間	日 課	備 考
7:50～ 8:10	家族送迎の利用児受け入れ	
8:10 ～ 8:30	光陵支援学校への送り	
8:30 ～ 8:40	学校玄関までの登校支援	

②休校日等時程

生活介護日課及び放課後等デイサービス休校日時程に同じ

(2) 日常生活支援

- ・放課後等デイサービス利用児に対して、学校玄関までの登校支援において、付き添い介助を実施した。その他、放課後等デイサービス事業に同じ。

(1) 医療的ケア

放課後等デイサービス事業に同じ

(4) 健康管理

放課後等デイサービス事業に同じ

(5) 関係機関との連携

放課後等デイサービス事業に同じ

(6) 家族への支援

放課後等デイサービス事業に同じ

4. 苦情受付 受付0件

5. 防災状況 生活介護に同じ

6. まとめ

現在の利用状況では、同事業の利用契約児は1名であります。サービス内容については日頃から大船渡市担当課と相談しつつ、柔軟な受入れ体制をとり、児童や保護者のニーズに寄り添いながらサービス提供に努めてまいります。